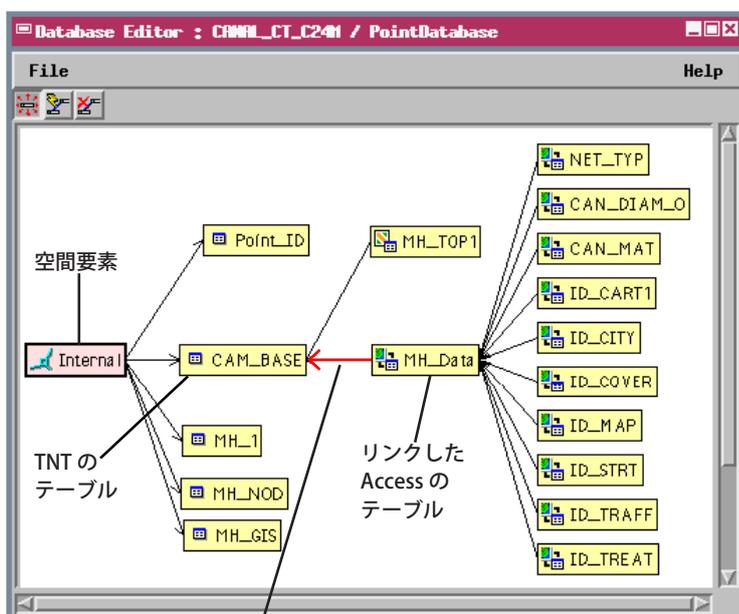
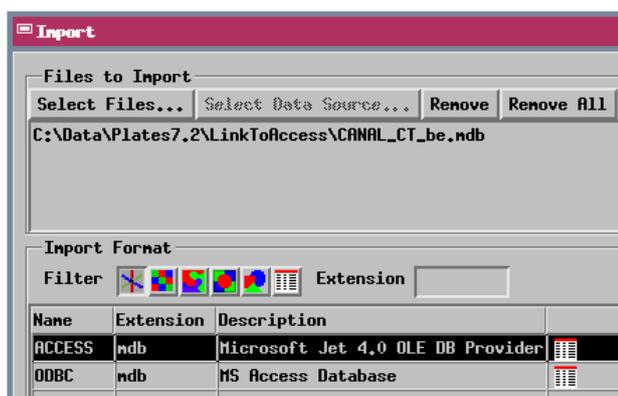


# Access データベースへのリンク

ご存知でしたか?... TNT 空間オブジェクトを Access データベースの属性にリンクできます。

## Access データベースにリンクすることで...

- 空間属性を外部の Access リレーショナルデータベースファイルで管理できます。
- Access データベース中のいくつかまたは全てのテーブルにリンクできます。
- OLE DB 接続により、Access テーブル間の全てのキーフィールドの関連付けを維持できます。
- リンクした Access の属性に基づいて要素のスタイルとデータタイプを設定できます。
- TNT 製品で使っている間も Access のテーブルを編集できます。
- 更新された属性値を見るために、TNT のテーブル表示を手動で再読み込み (リフレッシュ) したり、時間による自動再読み込みを設定できます。



Access データベーステーブルにリンクした後、〈データベースエディタ (Database Editor)〉を使って Access のルートテーブルと TNT のテーブルのキーフィールドを手動でリレートします。

## Access データベースにリンクする方法

- Access のルートテーブルに主キーフィールドがあって、その値が TNT テーブルの値と一致することを確認します。
- 「Import(入力)」処理で、Access ファイルを選択して、[ACCESS] 形式を選択します。
- 〈インポートパラメータ (Import Parameters)〉ウィンドウの [リンクのみ (Link Only)] トグルをオンにします。
- Access テーブルへのリンクを含む TNT 空間オブジェクトの要素データベースを選択します。
- リンクを作成したら、〈データベースエディタ〉を使って、リンクした Access のルートテーブルを要素にアタッチした TNT テーブルにリレートします。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：  
**地理データのインポート  
 (Importing Geodata)**

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
 紀伊国屋ビル 1F  
 Tel: (03)3623-2851  
 Fax: (03)3623-3025  
 E-mail: info@opengis.co.jp

